

仕様	定格電圧	周波数	入力電流	消費電力	平均電力	適合ランプ（別売）	口金
	100V	50/60Hz	0.47A	47W	40W	LED ランプ（LDL40S/21W×2）	GX16t-5
			0.39A	39W	34W	LED ランプ（LDL40S/17W×2）	
			0.35A	35W	30W	LED ランプ（LDL40S/15W×2）	
			0.33A	33W	29W	LED ランプ（LDL40S/14W・N3×2）	
			0.33A	32W	28W	LED ランプ（LDL40S/14W・N2×2）	

E769Z902H51

保存用

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきましてありがとうございます。



三菱 LED 照明器具

キッチンライト

形名 EL-LFP4142 1HJ

初期照度補正はランプ寿命末期まで常に定格ランプ出力の約76%の光束を維持する様設計されています。

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■取扱いを誤った場合に発生が想定される危害・損害の程度を次の区分で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

	警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
	注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従って行ってください。

器具の取扱い

- テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
- 放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプの交換

警告 ランプ交換は電源スイッチを切ってから行う。（感電の原因）

注意 点灯中や消灯直後は、高温のため器具およびランプに手や肌などを触れない。（やけどの原因）

初期照度補正形はランプの点灯時間に応じて調光率変化させ、一定の光束を保つよう設計されています。従ってランプ交換時はランプの点灯時間を記憶した器具側のタイマーをリセットさせる必要があります。

<タイマーリセット>

- | | |
|---|---|
| (1) 器具 1 台のみリセットする場合 | (2) 同一電源回路の器具と一斉にリセットする場合 |
| ①電源 OFF 後、ランプを取出します。 | ①電源 OFF 後、全ての器具のランプを新しいものに交換します。 |
| ②ランプを取出した状態で『電源 ON（1 秒間）→OFF（1 秒間）』を 3 回繰り返します。 | ②ランプを装着した状態で『電源 ON（1 秒間）→OFF（1 秒間）』を 6 回繰り返します。 |
| ③新しいランプを取付け、電源を ON します。 | ③3 秒以内に電源を ON します。 |

※ランプ交換は器具単位で行ってください。2 灯用器具の場合、ランプ 1 本だけの交換では適正な照度が得られません。
※リセット操作が正しく行われたら、電源 ON の約 5 秒後に調光点灯します。（器具は初期状態に戻ります。）

【適合ランプ】 ・LDL40S/14W ・LDL40S/15W
・LDL40S/17W ・LDL40S/21W
当社適合ランプ以外のランプはご使用できません。

器具の清掃

<器具のお手入れについて>

器具の汚れは、柔らかい布をぬるま湯か、うすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとってください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

警告 器具の清掃は電源スイッチを切ってから行う。（感電の原因）

注意 点灯中や消灯直後は、高温のため器具およびランプに手や肌などを触れない。（やけどの原因）

知っておいていただきたいこと

- 電源 ON 状態でランプ交換を行わないでください。保護動作にてランプが点灯しない場合があります。その際は電源を入れなおしてください。
- 点灯、消灯時にカバー、ランプの収縮・膨張によりきしみ音や反りが発生する場合がありますが異常ではありません。
- 誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

使用に関するご注意

- LED にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同形状の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。

保証について

- 無償修理
照明器具の商品納入日より 1 年間、また照明器具に内蔵されている LED 光源・電源ユニットは 3 年間です。
- 無償提供
LED 光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品または LED 光源・電源ユニットを 5 年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログをご参照ください。

異常時の処置

警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40
三菱電機照明株式会社 ☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

警告

	引火する危険のある雰囲気を使わない。（ガスolin・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。）（火災の原因）		施工は電気工事士の有資格者が「電気設備の技術基準」・「内線規程」に従い行う。
	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）		電源線接続の際は、指定太さの電源線を指定長さには被覆を剥がし 1 本ずつ電源線差込穴の奥まで差込む。（差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因）
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）		器具の取付けは取扱説明書に従い行う。（不確実な取付けは、落下・火災・感電の原因）
	電源線接続の際は、電源線を張った状態としない。（接続不良による発熱で火災の原因）		電源の接続は取扱説明書に従い行う。（接続が不完全な場合は、接続不良により火災の原因）
	禁止		ポリエチレン系絶縁体を使用した EM（エコマテリアル）ケーブルをご使用される場合には、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで覆い保護を施してください。（感電・火災の原因）

注意

	高温（35℃を超える）、粉じん、強い振動・衝撃のある場所、直射日光の当たる場所では使わない。（落下・感電・火災の原因）		板厚の薄い所や強度的に不十分な所に取付けない。（落下の原因）
	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。（劣化による落下の原因）		45° を超える傾斜天井には取付けない。（指定角度より角度の大きい天井への取付けは、落下の原因）
	一般屋内用器具です。屋外、水気・湿気のある場所（例：トイレ・厨房・脱衣所など）、及び軒下、屋外通路、アーケードなどの雨線内では使用しない。（火災・感電の原因）		傾斜天井への取付けの際、縦方向で取付けない。
	電源は表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の 90% 以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります。（火災・感電の原因）		ランプ取付けの際は、ランプピンには触れない。（感電の原因）
	天井面取付専用器具です。指定方向以外の取付けはしない。（落下の原因）		電気工事の際は、電源を切る。（感電の原因）
	器具取付面（クロス貼り・コンクリート）が乾燥不十分な場所に取付けない。（絶縁不良や錆により、感電・落下の原因）		カバーを確実に取付ける。（斜め取付け・不完全な取付けは、感電・落下の原因）
	厳守		ランプ取付け後、ランプ口金表面の四角形状のマークが給電側ソケットのランプピン挿入部の位置にあることを確認する。ランプ口金表面に四角形状のマークがない場合は、ランプマーク表示の中心延長線上がランプピン挿入部の位置にあることを確認する。（取付けが不完全な場合、落下の原因）

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

警告

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	厳守	器具の清掃は電源スイッチを切ってから行う。 (感電の原因)
	器具を布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)		ランプ交換は電源スイッチを切ってから行う。 (感電の原因)
	引火する危険のある雰囲気を使わない。(火災の原因)		

注意

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。
	LEDの光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因) 点灯中や消灯直後は、高温のため器具およびランプに手や肌などを触れない。(やけどの原因) 器具の直下及び付近にストーブなど高温になるものを置かない。(過熱して火災の原因)		
<p>■照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。 LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけはありません。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。(JIS C 8105-1 解説による。)</p>		<p>■周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。 ■3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。 ■点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。</p>	

お願い

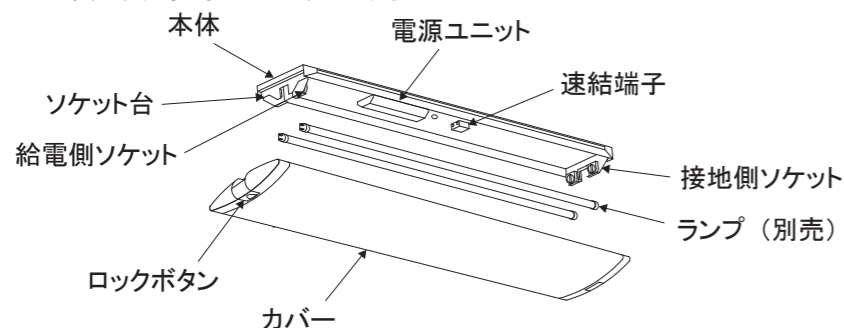
- 周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
- 温泉地など、腐食性ガスが発生する場合での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
- 油煙のある場所では使わないでください。光学特性が低下する原因となります。
- 器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組み合わせるとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。

各部のなまえと取付けかた

警告

器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

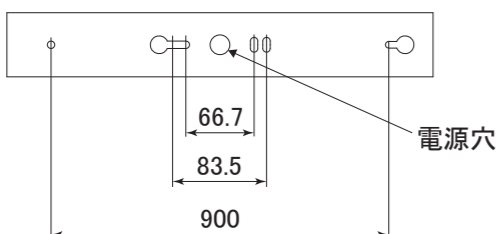
この図は一部省略、抽象化してあります。



- 【付属品】
- 木ねじ 3本
-

1 器具の取付け

- 本体中央の電源穴に電源線を通してください。
- 本体を付属の木ねじ3本で天井面のしっかりと補強された部分に取付けてください。アウトレットボックスカバーに取付ける場合はM4ねじとワッシャーを使用してしっかりと取付けてください。
*天井面と器具端部に隙間が出る場合は木ねじ等で補助願います。



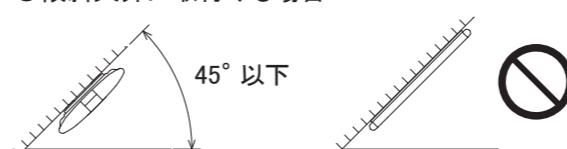
注意

■電気工事の際は、電源を切る。(感電の原因)

注意

- 板厚の薄い所や強度的に不十分な所に取付けない。(落下の原因)
- 器具取付面(クロス貼り・コンクリート)が乾燥不十分な場所に取付けない。(絶縁不良や錆により、感電・落下の原因)
- 天井面取付専用器具です。指定方向以外の向きに器具を取付けない。(落下の原因)

●傾斜天井に取付ける場合

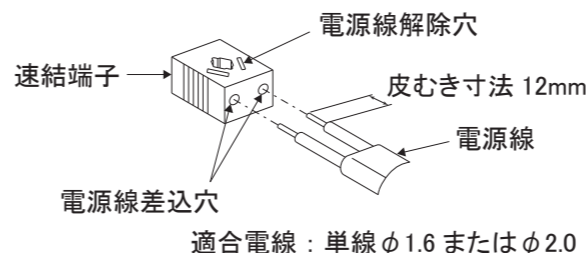


注意

- 45°を超える傾斜天井には取付けられない。(指定角度より角度の大きい天井への取付けは、落下の原因)
- 傾斜天井への取付けの際、縦方向で取付けない。

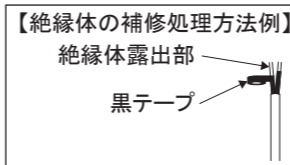
2 電源線の接続

(1)電源線を速結端子の電源線差込穴に接続してください。



適合電線：単線φ1.6またはφ2.0

●EM(エコマテリアル)ケーブルを電源電線にご使用の場合



備考：EMケーブル (EM-EEF) =600V ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル平形

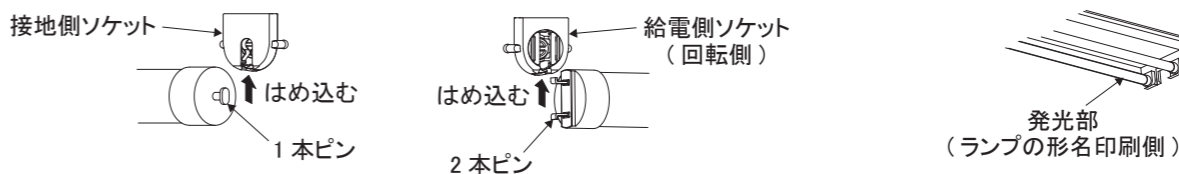
警告

- 指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし1本ずつ電源線差込穴の奥まで差込む。(差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因)
- 電源線接続の際は、電源線を張った状態としない。(接続不良による発熱で火災の原因)
- ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用される場合には、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで覆い保護を施してください。(感電・火災の原因)

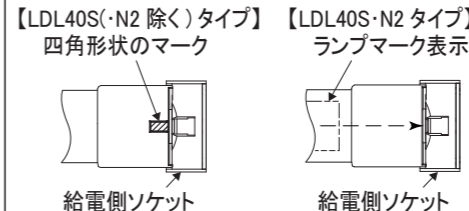
3 ランプ・カバーの取付け

●ランプの取付け

- ①接地側(ランプ1本ピン)を取付ける。
- ②給電側(ランプ2本ピン)を取付ける。
- ③ランプの発光部が照射方向となるように90度回転させ確実に取付ける。



警告



■ランプ取付け後、ランプ口金表面の四角形状のマークが給電側ソケットのランプピン挿入部の位置にあることを確認する。ランプ口金表面に四角形状のマークがない場合は、ランプマーク表示の中心延長線上がランプピン挿入部の位置にあること。(取付けが不完全な場合、落下の原因)

●カバーの取付け

- (1)カバー端部のロックボタンをつまみ、横に引き出してください。
- (2)カバーを下図に従い本体に取付けてください。
①カバーの片側を天井にあたるまで押し上げ、水平に押し下げる。
②反対側を天井にあたるまで押し上げる。
③カバーを水平方向に押し、下に下げる。
- (3)ロックボタンをカチッと音がするまで確実に押し込んでください。

注意

- カバーを確実に取付ける。(斜め取付け・不完全な取付けは、落下の原因)
- 点灯中や消灯直後は、高温のため器具およびランプに手や肌などを触れない。(やけどの原因)
- ランプ取付けの際は、ランプピンには触れない。(感電の原因)